

Title	事業部制企業の設備投資管理経営資源の有効配合のための一研究
Sub Title	
Author	松井一昭(Matsui, Kazuaki) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1979
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001979-0052

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	松 井 一 昭	主査	伏 見 多美雄	教授
	(日立金属株式会社)	副査	関 本 昌 秀	教授
所属ゼミナール	伏 見 多美雄 研		柳 原 一 夫	助教授
			柴 田 典 男	助教授

事業部制企業の設備投資管理 — 経営資源の有効配分のための一研究 —

本論文は、事業部制企業に於る設備投資管理について、単に個々の設備投資案自身の経済性を測定するだけでなく、マネージメント・コントロール・システムの中に正しく位置づけるという観点から考察する。

研究の方法としては、主としてL社という個別企業の事例を中心にしているが、この事例を通じて事業部制企業の設備投資管理について適用できる一般的な諸原則を整理することにも注意を向けている。

論文の主要な部分は次の3章から成り立っている。

第1章では、L社の概要を述べ、現行の設備投資計画および、管理システムの大要を説明する。合わせて最適配分を確保するための選択に関して、又、同制度による事業部のマネージメント・コントロール・システムに関して、基本的な問題があることを指摘する。

第2章では、各事業部より提出された設備投資案を全社的な資金効率という観点から選択するための手順と評価尺度について、選択する対象である諸案が混合案の関係にあり、不可避投資案を含むという条件の下で検討する。

第3章では、各事業部の設備投資に関する意思決定と、全社の目標との整合性を保つようなマネージメント・コントロール・システムのあり方について、資本予算と年度予算の関係、責任会計にもとづく計算方式、業績評価を中心に検討する。